

用語解説

● AI歩行

AIはActive Impedanceの略で、訓練を行っている人自身の脚力で歩行訓練機のベルトを動かす歩行のことを言います。

● ALS

ALSはAmyotrophic Lateral Sclerosis[筋萎(い)縮性側索硬化症]の略で、進行性の難病で手足が動かなくなり、発声が困難になる病気で、コミュニケーション支援が必要です。

● AVI, VRML

AVIは Audio-Video Interface, VRMLは Virtual Reality Modeling Languageの略で、コンピュータ上で写真やアニメーションなどを動画として扱うためのデータ形式のことです。

● DICOMインタフェース

DICOM(ダイコム)は、Digital Imaging and Communications in Medicineの略で、このインタフェースは、放射線などを使った医療機器で撮影した医用画像の通信規格の一つです。

● インスペクション法

ユーザビリティテストと同様に、使いやすさに関する定性的な評価方法の一つで、ユーザビリティデザイン技術者を含むチームが製品のプロトタイプなどを吟味(インスペクト)し、製品の問題点と改善点を見つけ出す方法です。

● 介護サービス計画(ケアプラン)

要介護者等が介護サービスを適切に利用できるように、当該要介護者等の依頼を受けて、その心身の状況、

生活環境、当該要介護者等とその家族の希望などを勘案し、利用する介護サービスの種類、内容、担当者などを定めた計画です。

● 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

身体上または精神上著しい障害があり、常時の介護を必要とし、かつ居宅で適切な介護を受けることが困難な65歳以上の高齢者を入所対象とし、日常生活に必要なサービスを提供することを目的としています。

介護保険導入以前は、「特別養護老人ホーム」と呼ばれていました。

● 介護老人保健施設(老人保健施設)

病院での急性期の治療終了後、症状が安定していることから入院する必要はないが、リハビリテーションなどの療養が必要な高齢者を対象として、家庭への復帰のために看護・介護サービスの両方を併せ持つ施設です。

介護保険導入以前は、「老人保健施設」と呼ばれていました。

● 健康日本21

21世紀における国民の健康づくり事業で、2000～2010年の期間、生活習慣病予防を中心とする健康寿命の延伸を目的に、厚生労働省が具体的な目標を設定し、官民参加のもとで事業が展開されています。

「21世紀における国民健康づくり運動」の通称です。

● 高齢社会

高齢社会とは、65歳以上の高齢者の割合が14%以上で、それが持続している社会を言います。わが国では2000年8月に高齢者の人口比率が14%になり、高齢社会の仲間入りをしました。また、超高齢社会とは、65歳以上の人口が20%を占める社会であり、わが国は、2007年にこの超高齢社会になると言われています。

● ゴールドプラン21

介護保険制度がスタートした2000年度から5年間に整備すべき介護基盤の目標を定めた厚生労働省の計画です。これは、ゴールドプラン(1989年策定)、新ゴールドプラン(1994年策定)を引き継ぐもので、遅れ気味の分野もある介護基盤整備を急ぐために、目標値を大幅に上げています。

具体的には、在宅介護の柱の一つとなるホームヘルパーを現行目標値の17万人から35万人と倍増させるほか、特別養護老人ホームを29万人分から20%増の36万人分に引き上げています。軽度の痴ほう性老人が共同生活を送るグループホームについては、新ゴールドプランでは目標値を定めていませんでしたが、最近、一定の効果があるとして介護保険制度の対象に盛り込まれたことから、3,200か所を整備するとしています。

● 生活活動度

宅内での起床・睡眠、トイレ・ふろの使用頻度や家電品の利用など、通常行われる日常的な活動の程度のことを言います。

● 措置

市町村の職権により、一定の基準(措置基準)に基づいて施設への入所、在宅サービスの利用を決定する制度で、介護保険が導入される以前の高齢者保健福祉サービスの利用決定方法です。

● 電子政府

電子政府とは、(1) 行政に関わる手続きなどや事務作業の効率向上、(2) 行政に関する情報公開、(3) 国民に対するサービス向上、(4) 電子投票をはじめとしたデジタルデモクラシーの実現などを目標とした、政府・行政部門内、および国民や企業など民間部門とのネットワ

ーク化や情報化を意味します。

知識産業社会の基盤とし、効率的で質の高いサービスを提供するために、わが国では、2003年に世界最高水準の電子政府を実現することをめざしたミレニアム プロジェクトが1999年にスタートしています。

● ハーフミラー

光の透過と反射の程度をほぼ同じにした、片側から見ると鏡で、その反対側からでは向こう側が見通せる半透明鏡のことです。マジックミラーとも言います。

● 包括的自立支援プログラム

介護療養型医療施設連絡協議会、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会の三団体が施設ケアとして共通のサービス実施施設の立場から協力開発した手法で、施設での看護・介護に加えて在宅介護も念頭に追加アセスメント項目を取り入れた介護サービス計画の立案手法です。

● メンブレン(膜)スイッチ

プラスチック製の膜に電極をはり、圧力がかかることによって接点がONとなるスイッチで、家電製品などで使用されています。

● ユーザビリティテスト

使いやすさに関する定性的な評価方法の一つです。対象とするある製品のユーザーの代表者に対して、テストングラボなどで、その製品の典型的な課題について思いついたことを話しながら使用してもらう中で、製品の問題点を発見し、その改善案を見つけ出す手法です。

● ワンストップサービス

役所などで、一つの窓口で手続きをすれば他の部署や機関への処理が自動的に行われるサービスのことを言います。